

ヤマキ船用オイルクーラー

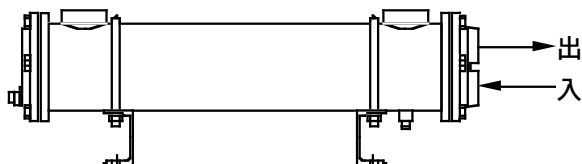
お取り扱い上の注意点

1084A

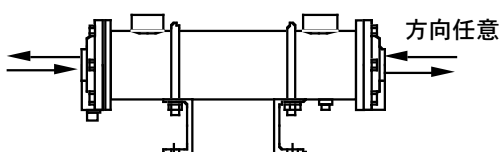
① 海水の入口出口は下図の通りです。

YOC-015 口径PT 1
YOC-025 口径PT 1-1/4
YOC-048 口径PT 1-1/4
YOC-064 口径PT 2

出入口を反対に使用すると
内部に空気溜まりが出来て
性能を著しく低下させる恐れがあります。



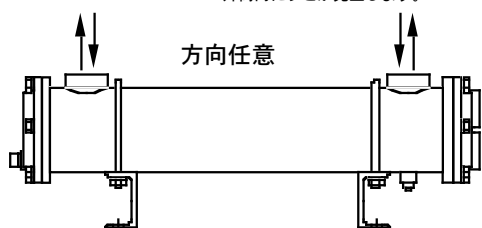
YOC-006 口径PT3/4



② 油の入口出口は下図の通りです。

YOC-006 口径PT 1
YOC-015 口径PT1-1/4
YOC-025 口径PT1-1/2
YOC-048 口径PT 2
YOC-025 口径PT2-1/2

誤ってこちら側に海水を通すと、
性能が発揮できないと共に
外筒内にサビが発生します。



③ 必要な海水流量は以下の通りです。

YOC-006 30~40 l/min
YOC-015 65~80 l/min
YOC-025 110~135 l/min
YOC-048 110~135 l/min
YOC-064 210~265 l/min

必要以上の海水を流すことは、
キャビテーションエロージョンによる
破損の原因となりますのでご注意ください。

④ 海水入口出口のホース金具は、 砲金製のものをご使用下さい。

⑤ 必ずタンクへの戻りラインに 設置して下さい。

油側の常用圧力は10.0kg/cm²以下です。
背圧がかかる漁労機械間のような場所への
設置は厳禁です。

⑥ 以下のような場所への設置は 避けて下さい。

激しい振動のある場所
海水・雨水のかかる場所

⑦ 燃料クーラーとしても ご利用いただけます。

ただし何らかの原因による故障で
燃料に海水が混入するとエンジンに
多大な被害を与える可能性があります。
念のため市販の油水分離器の併用をお薦めします。

⑧ 日常点検

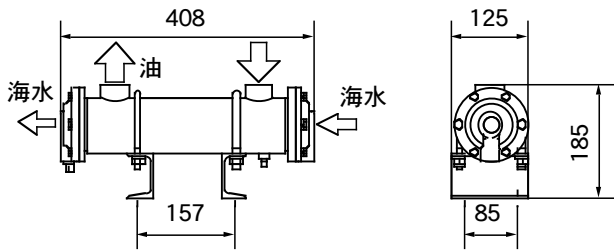
油及び海水の漏れに留意して下さい。
冬季海水が凍結する地域では運転休止後に
水抜きを行って下さい。また、長期間（1ヶ月以上）
使用しない場合も水抜きを行って下さい。

⑨ 定期点検

海水ラインのゴミ詰まりは、ゴムホースの破裂
抜けなどの重大事故を引き起こす原因となります。
また冷却管の汚れにより冷却効果が落ちます。
その期間は水質・ご使用時間により異なりますが
8~12ヶ月毎にサイドカバーを外して洗浄を
行って下さい。

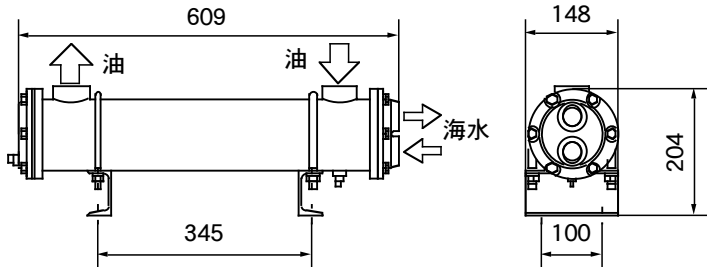
主要要目

YOC-006 【最大流量 60 ℓ/min】



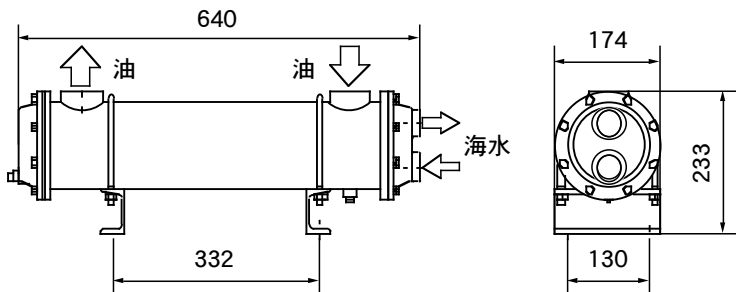
伝熱面積	0.60㎡
口径	油側PT1 水側PT3/4
重量	11Kg
冷却水	30~40 ℓ/min

YOC-015 【最大流量 130 ℓ/min】



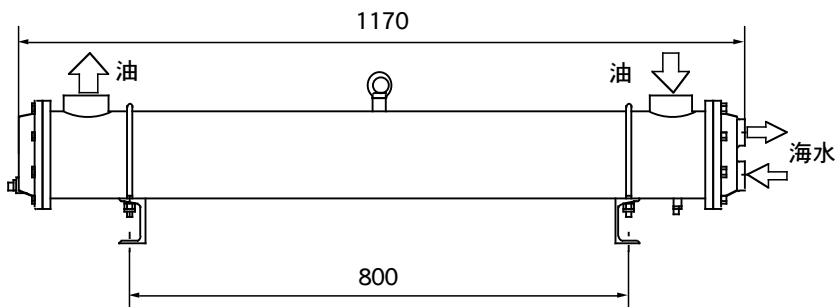
伝熱面積	1.52㎡
口径	油側PT1-1/4 水側PT1
重量	20Kg
冷却水	65~80 ℓ/min

YOC-025 【最大流量 200 ℓ/min】



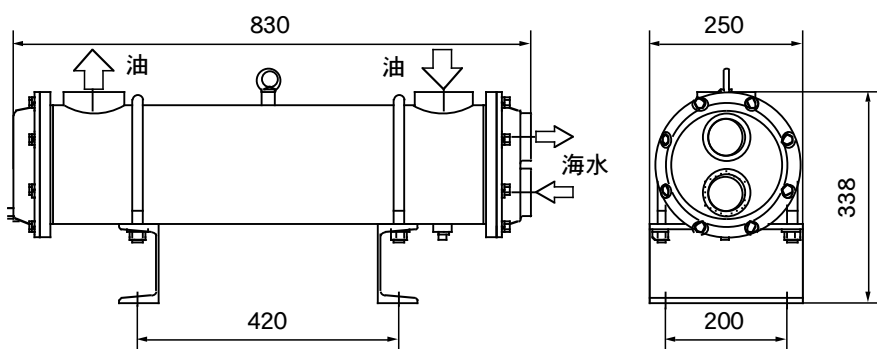
伝熱面積	2.43㎡
口径	油側PT1-1/2 水側PT1-1/4
重量	28Kg
冷却水	110~135 ℓ/min

YOC-048 【最大流量 350 ℓ/min】



伝熱面積	4.68㎡
口径	油側PT2 水側PT1-1/4
重量	40Kg
冷却水	110~135 ℓ/min

YOC-064 【最大流量 550 ℓ/min】



伝熱面積	6.44㎡
口径	油側PT2-1/2 水側PT2
重量	60Kg
冷却水	210~265 ℓ/min